

三次元画像可視化システム

# VOLUME EXTRACTOR

ボリューム エクストラクター

使いやすさアップ!

## Version 3.5.0.2

### バージョンアップ内容

#### ○ 計測機能の機能拡張

従来は、垂直な平面（直交した平面）での計測でしたが、本バージョンでは、任意角度の平面上での計測が可能になりました（図 1、2）。また、本バージョンからは実数空間（従来は整数空間）での計測になり、計測精度が格段に向上しました。

#### ○ 2D 等高線表示の追加

等値面ダイアログに 2D 等高線表示機能を追加しました。3D 等値面表示と比較して、高速な表示が可能です（図 3）。

#### ○ 全自動ボリュームレンダリング表示

CT、MRI、コーンビーム型 CT 画像に対して、自動で伝達関数を生成する機能を改良・追加しました。本機能を用いることで、伝達関数マップを編集することなく、画面表示が可能となります（図 4、5）。また、Preference ダイアログで AUTO（モダリティ名）を選択して頂くと自動的に最適なボリュームレンダリング表示を行います（図 6）。

#### ○ 日本語・英語・中国語の操作マニュアル

日本語、英語、中国語の操作マニュアルを用意しました。また、各種操作マニュアルの誤字・脱字等の修正を行いました。

#### ○ その他の改善、バグフィックス

- ・ボリュームレンダリングダイアログの自動伝達関数アイコンを最初に表示するようにしました。
- ・マイクロメートル単位の面積・体積計測を行う際の指数表記に対応しました。

#### カスタマイズサービス

日常業務等でお悩みの場合、何でもお気軽にご相談ください！

- ・画像処理フィルタの作成
- ・処理の自動化
- ・パラメータ設定
- ・プログラム開発
- ・3D プリンタ用造形モデル作成
- ・CG/画像処理/WEB etc.

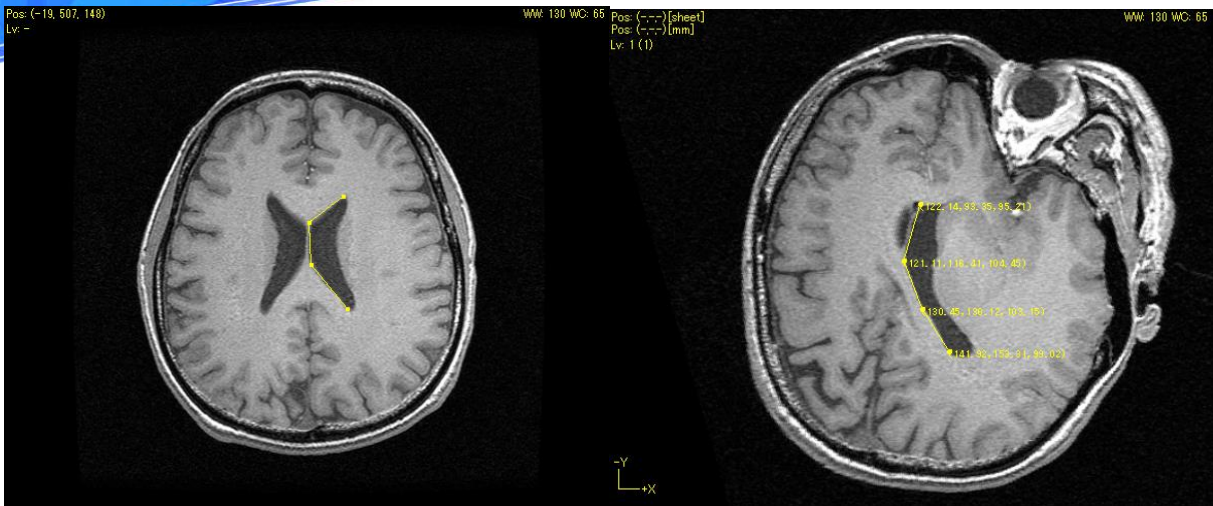


図1 任意角度の平面上での計測（水平断面表示→傾けた平面（X-Y平面）での計測）

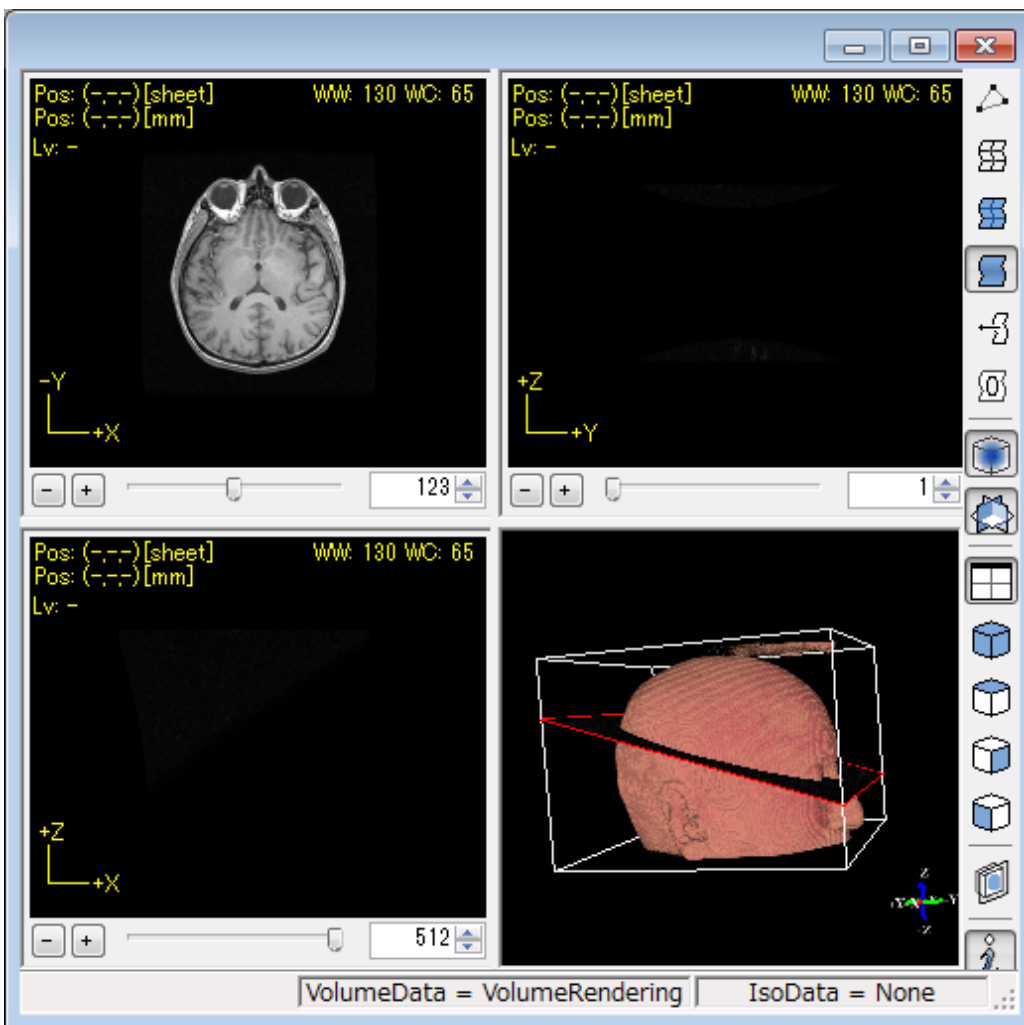


図2 任意角度の平面指定方法（2D/3D表示を見ながら選択）

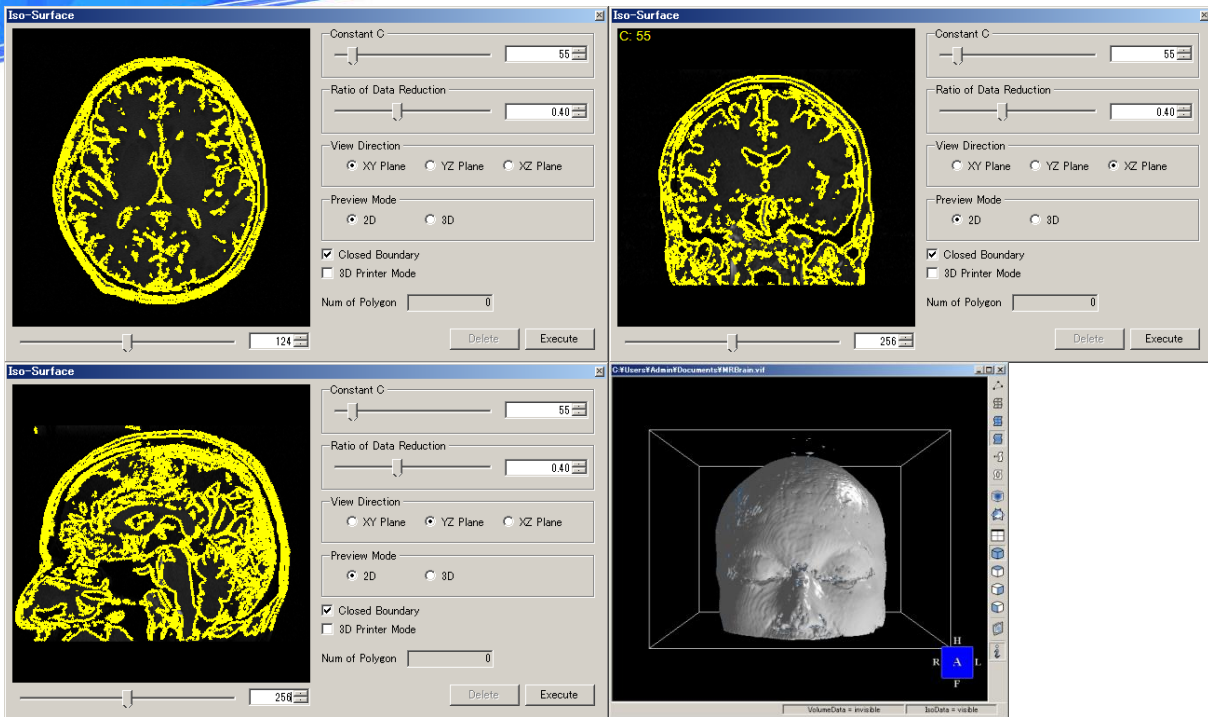


図3 等値面ダイアログの等高線表示機能

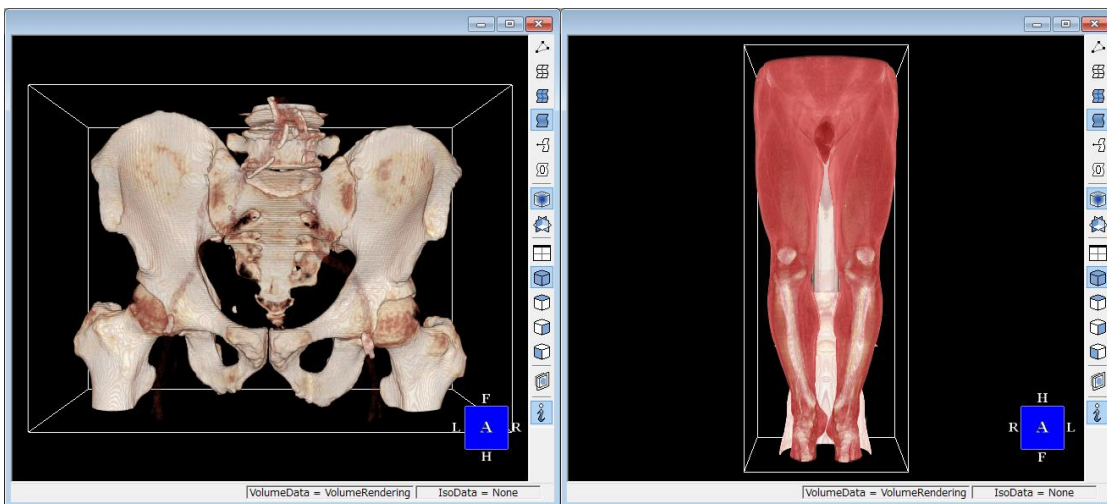


図4 自動伝達関数 (左: CT 骨表示用、右: CT 骨・皮膚表示用)

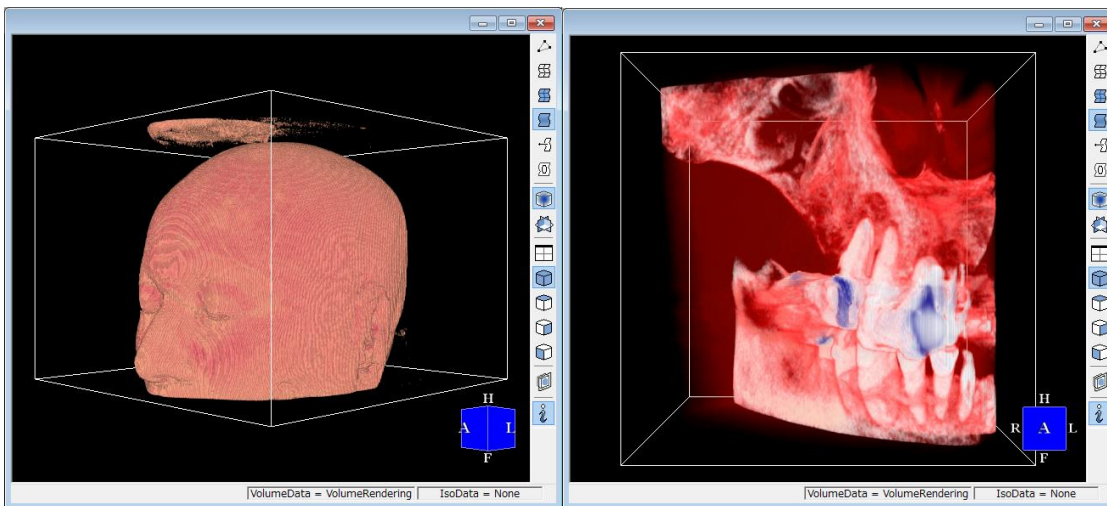


図5 自動伝達関数 (左: MRI 皮表示用、右: コーンビームCT 骨・皮膚表示用)

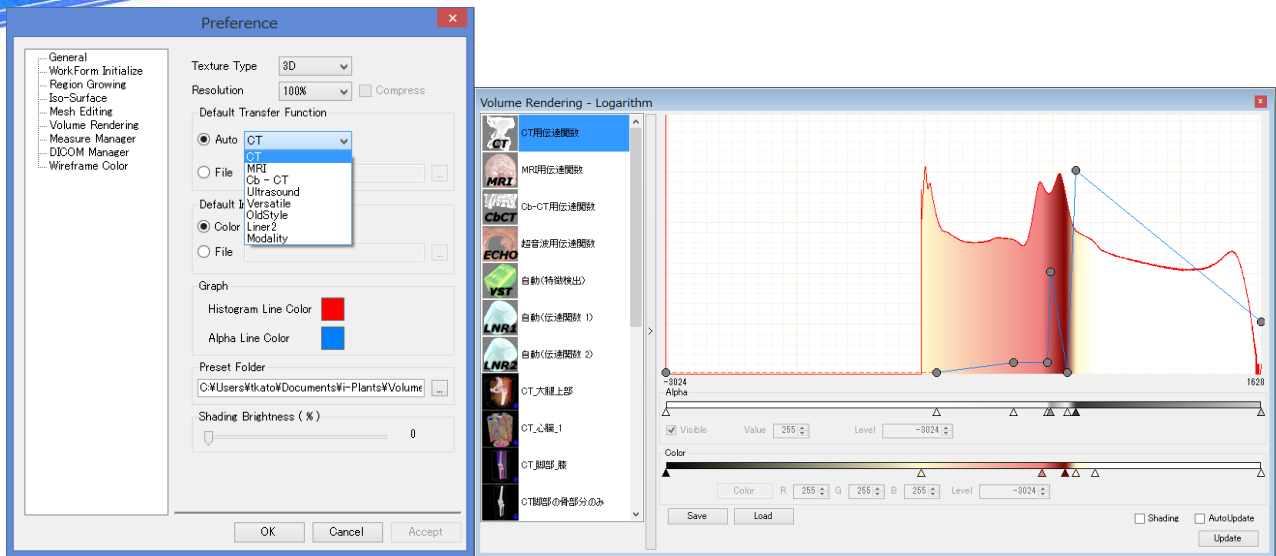


図6 Preference ダイアログでのモダリティ選択と自動伝達関数アイコン